

東京ドームシティ「Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)」開業1周年企画
が
『「ねこ画展」～ねこ画から生まれた愛おしい世界～』
開催決定！

猫好きの聖地「にゃんこ堂」がおすすめする、今注目の作家8名による「ねこ画」企画展

東京ドームシティ(文京区後楽1-3-61)の「Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)」は、今年4月で開業1周年を迎えます。

このたび、ギャラリー1周年を記念して、2018年4月26日(木)～7月8日(日)の期間、『「ねこ画展」～ねこ画から生まれた愛おしい世界～』の開催が決定しました。

本展覧会は、画家、絵本作家、イラストレーター、漫画家などジャンルを問わず、猫をテーマに魅力的な作品を発表している新進気鋭の日本人作家8名による「猫の絵画展」です。バラエティ豊かに描かれた猫たちの絵約80点を展示します。

参加作家は、「おかべてつろう」「くまくら珠美」「クラミサヨ」「柴田ケイコ」「高原鉄男」「ねこまき」「目羅健嗣」「山下絵理奈」。常時約2,000冊の猫本をそろえ、猫好きの聖地となっている「神保町にゃんこ堂」がおすすめする今注目の作家たちです。

また、会場では、参加作家の本を販売する「にゃんこ堂水道橋店」が期間限定でオープンするほか、本展のためにセレクトしたかわいい猫の雑貨販売も行います。

さらに、ほぼ日の人気アプリ「ドコノコ」プロデュースのねこさがしイベントのほか、チャリティコーナーや保護猫里親探し(休日開催/期日未定)など様々な企画が盛りだくさんの遊べる展覧会となっています。

なお、本展覧会の入場料収入の一部をチャリティとして保護猫活動に寄付いたします。

- タイトル:『「ねこ画展」～ねこ画から生まれた愛おしい世界～』
- 日 程:2018年4月26日(木)～7月8日(日)【74日間】
※開催期間中無休
- 時 間:12:00～20:00
※最終入館は閉館の30分前まで
- 料 金:当日 大人(高校生以上)1,300円/小人(小・中学生)900円
前売 大人(高校生以上)1,100円/小人(小・中学生)700円
※未就学児無料
- チケット発売:2018年3月16日(金)10:00～
ローソンチケット・チケットぴあ・セブンチケット・イープラス
にて前売開始
※イベント初日4月26日(木)より当日料金
- 主 催:株式会社東京ドーム
- 企画協力:神保町にゃんこ堂
- 後 援:読売新聞社
- チャリティ協力:保護猫カフェ ネコリパブリック
- U R L:<https://www.tokyo-dome.co.jp/aamo/event/nekogaten.html>



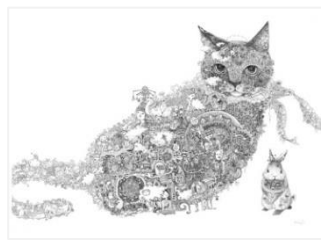
■主な内容:



灯火 ©おかべつろう



わたしのげぼく
©上野そら・くまくら珠美/
アルファポリス



私の大事な毛玉たち
©クラミサヨ



めがねこ ©柴田ケイコ/手紙社



「Here I am.」 ©高原鉄男
/TETSUO CORPORATION



まめねこ
©ミュージックワーク/さくら舎/
まめねこ製作委員会



手をとりあって ©山下絵理奈



青いターバンにじゃれる猫
©目羅健嗣

◇8名の作家によるねこ画作品約80点を展示

- おかべつろう:カラフルでキラキラした世界観を様々な大小のパネルで展示。
- くまくら珠美:猫好きの心をくすぐる「くまくらガハク」の大判パネルや、幻の原画などを展示。
- クラミサヨ:美しく、緻密に描かれた“ペン画”による原画作品や大判パネル10点を展示。
- 柴田ケイコ:絵本作家デビューとなった「めがねこ」の原画作品10点を展示。
- 高原鉄男:メッセージ性の高い、見応えのある原画作品10点を展示。
- ねこまき:描き下ろし作品やユルほっこりなマンガパネルなどをズラリと並べて展示。
- 目羅健嗣:猫絵師として描くイタリニャ大公国猫の名画コレクション「MELANO MUSEUM」より「VERMMERA X/35」と題した作品群を展示。また、期間中絵師本人による歌と狂言の「のめらにゃん斎 猫狂言紙芝居」上演予定。
- 山下絵理奈:迫力ある大判原画作品や、ユーモラスな立体作品をスペシャル展示。

※展示作品点数などは変更の場合があります

◇「ドコノコ」プロデュースイベント

ほぼ日の人気アプリ「ドコノコ」がプロデュースする、館内に隠されたねこをさがす「迷子さがしゲーム」や「ドコノコおみくじ」が登場します。

◇ねこ検定

2017年3月に第1回が開催され、全国で約4,000人が受験し話題になった「ねこ検定」が登場。猫のしぐさや行動への理解が深まる初級レベルの問題から、ストレス予防や医療にも精通した上級レベルの問題まで挑戦していただけます。

◇ネコロジー アドラーとネコの心理テスト

心理学者アドラーの教えを元に、猫写真を見て直感で答えると今の自分の深層心理が分かる大人気心理テストをお楽しみいただけます。

◇ネコリパブリックブース

日本猫殺処分0を目標に活動する自走型保護猫カフェ「ネコリパブリック」によるチャリティコーナーなど、様々なイベントを展開します。また、期間中には保護猫里親会(休日開催/期日未定)も開催します。

◇にゃんこ堂水道橋店&物販コーナー

展示作家の関連猫本やグッズのほか、今回の展示会に合わせてセレクトした猫関連雑貨を販売します。
など

※会期・内容に関しましては、変更になる場合がございます。イベントスケジュール等は、公式ホームページをご確認ください

お客様からのお問い合わせ先:東京ドームシティわくわくダイヤル TEL.03-5800-9999

参加作家プロフィール

<おかべてつろう>

イラストレーター 日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)会員

グラフィックデザイナーを経てイラストレーターとして独立。出版、広告、パッケージ、テキスタイルなど様々な媒体のイラストレーションを手掛ける。これまでに東京のギャラリーで個展を多数開催。2016年からは台湾でも活動を開始し、美術館ミュージアムショップ、書店、セレクトショップなど多数の店舗で商品を販売している。2017年12月に台湾の大手出版社、悦知文化から初の作品集を発売。

<くまくら珠美>

猫漫画家/猫絵作家/アートディレクター

猫をモチーフにした漫画、絵画、グッズなどを制作。『ちよだ猫まつり』(2016~2018年)、『ねこ検定』(初級、中級上級編)などの公式キャラクターを手がける。漫画『猫又指南』('01年~'08年『猫の手帖』連載/'09年単行本出版 ネコ・パブリッシング) 絵本『わたしのげぼく』(文・上野そら/画・くまくら珠美 アルファポリス) 雑誌や書籍、ポータルサイトに作品やエッセイを執筆し、猫のイベントなどにも出展する。

<クラミサヨ>

イラストレーター

ペン画(0.1mm~0.03mmの耐水性のペン)で独創的な世界観を表現。2010年 講談社kfsアートコンテスト 浅葉克己賞受賞をはじめ多数受賞し、保育士からイラストレーターに転身する。2013年 講談社kfsアートコンテスト コーチナ賞受賞(アメリカ招待)。現在活動拠点を石川県に置き、全国各地で作品を発表している。著書『ぬり絵BOOKネコと仲間たちの不思議な世界』『心をととのえる 大人のスクラッチアート ネコと不思議な海の世界』(ともに辰巳出版)『癒しの塗り絵シリーズ』(創美出版)

<柴田ケイコ>

イラストレーター

高知県高知市出身在住。広告全般、出版物、WEB用あらゆるジャンルでイラスト制作他、紙もののグッズ、絵本制作も手がける。2016年絵本『めがねこ』(手紙社)で著者デビューを果たし、2017年に発表した絵本『おいしそうなしろくま』(PHP研究所)では、リプロ絵本大賞、第10回MOE絵本屋さん大賞入賞、けんぶち絵本の館アルパカ賞入賞など多くの賞を受賞。

<高原鉄男>

画家 1958年4月-2014年12月

長崎県出身。グラフィックデザイナー、アートディレクターを経て、アーティストとして活動。1997年に夫人でデザイナーの道上由香と共に「鉄男」というブランド名で活動を始め、ハンドメイドテイストの猫をモチーフにした、洋服・雑貨等を多数制作し幅広い層に支持される。メッセージ性の高い原画作品は日本のみならず海外にも多くのファンを持ち、全国各地で原画展を開催。2007年4月初の著作「猫がいてよかった」を友人社より刊行。ちなみに「鉄男」というのはかつて飼っていた猫の名前。

<ねこまき(ミュージックワーク)>

イラストレーター/漫画家

2002年に会社を退職し独立。現在は、名古屋を拠点としながらイラストレーターとして活動中。コミックエッセイをはじめ、犬猫のゆるキャラ漫画、広告イラストなども手掛ける。主な著書に『まめねこ』シリーズ、『ねこのほそみち』(さくら舎)『まんが ねこねこ横丁 東京かんぱん猫』『ちびネコ どんぐり』(ホーム社)『しばおっちゃん』(実業之日本社)『ねこじいちゃん』『ずうねこ〜とくがわ東どうぶつ園日記〜』(KADOKAWA)など。

<目羅健嗣 Mera Kenji>

猫絵師/円谷プロダクションクリエイティブジヤム(TCJ)参加作家

千葉県勝浦市出身、同県袖ヶ浦市在住。現在までに描いた猫の数2,000匹以上。毎年、各地で個展を開催。都内カルチャーセンター他約20箇所まで猫の絵を描く教室も開催している。近年は狂言とミュージカルの紙芝居上演も各地で開催している。主な著作に『MELANO MUSEUM~イタリニヤ大公国、猫の名画コレクション』『うつくし三毛』《共著》(アトリエサード)『新装版 色えんぴつでうちの猫を描こう』(日貿出版)など。2016年4月には舞台『ロロとレレのほしのはな』に、やぎのおじいさん役で出演。

<山下絵理奈>

癒しの猫絵画家

1987年 北海道・札幌生まれ。絵のほかに塑像(そぞう:粘土や石膏を材料として作った像)なども制作。

北海道だけでなく、東京などで開催の個展やイベントに年間10本以上参加。現在、北海道札幌市「猫の足あと ミニギャラリー」にて活動。小学校高学年の時に、知的障害および精神障害の合併症また自閉症の疑いもありと診断される。東京都美術館「第40回悠美会国際美術展」招待参加(2016年)第62回新道展 新人賞受賞(2017年)

神保町にゃんこ堂について

「思わず二度見」「思わず頬がユルむ」「つい立ち止まってしまう」そんな書棚作りを目指し、2013年6月、神保町交差点にある姉川書店内に猫本コーナーをオープン。

書店の中に作った“専門書店”という位置付けで、『猫本専門 神保町にゃんこ堂』という小さな看板を猫本コーナーに飾り、猫本には専用の書皮(ブックカバー)をつけるサービスを。“くまくら珠美ガハク”デザインのオリジナル書皮がとて話題になり、書皮目当てで地方からいらっしゃるお客様も。

現在は常時600種類、2,000冊の猫本を用意。猫店長リクと共に、SNSを用いて猫本情報を発信。著書『猫本専門 神保町にゃんこ堂のニャンダフルな猫の本100選』(宝島社)、チャリティイベント「ちよだ猫まつり」ディレクション、「ねこ検定」(日本出版販売株式会社)プロデュースなど。

「ドコノコ」について

「ドコノコ」は、「ほぼ日」がリリースした、犬や猫の写真を投稿して楽しむアプリです。飼っていない人でもお気に入りの犬や猫のかわいい姿を眺めていつでも楽しめます。2018年2月に累計18万ダウンロードを突破しました。登録頭数は犬猫あわせて約10万頭。うちのコが迷子になってしまったときに近所にいるドコノコユーザーにお知らせして情報提供を求める機能は、すでに1,000回以上使われています。

ドコノコに投稿したうちのコの写真を使って「オリジナルカレンダー」「フォトブック」「ポストカード」なども作れます。時々開催される「ドコノコオフ会」は毎回大盛況。世界中の犬と猫と人が仲良くなれるアプリです。

「ネコリパブリック」について

2022年2月22日までに、「日本の猫の殺処分ゼロに！」を目標に掲げ、地域の保護猫団体と協力して、保護された猫の里親探しを行いながら、猫とおしゃれで素敵なライフスタイルを提案し、ビジネスとしても「自走」できることを目指す新しいスタイルの「自走型保護猫カフェ」です。

お客様が保護猫カフェを利用したり、猫グッズをお買い物したりすることによって、お客様とお店が「猫助け」という理念を共有し、楽しみながら猫の保護活動をサポートする仕組みを作っています。

『猫祭り「ネコ市ネコ座」』開催

Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)では、『ねこ画展』終了後の7月14日(土)～16日(月・祝)まで、保護猫をもっと知ってもらうために、猫好きによる、猫のための、猫祭り「ネコ市ネコ座」を開催します。

「ネコ市ネコ座」について

ネコ市ネコ座は、『楽しみながら、猫助け』がテーマです。

猫とニンゲンとが共生し、幸せに暮らせる社会の実現のために、この世のすべての猫を幸せになるように、猫のおかれた悲しい現状や、猫問題の解決策を、楽しみながら知ってもらうキッカケとなる場。猫好きによる、猫のための、楽しみながら猫助けができる、猫祭り。それがネコ市ネコ座なのです。

保護猫活動や、保護猫に関わる知識を知ってもらう場でもあり、収益をあげて、その収益で保護猫活動を推進するために開いています。猫が大好きな人が、猫のために集まり、楽しむ事で、猫助けができる。そんなハッピーネコサイクルを体験し、実現できる場を目指しています。 <http://www.nekoichinekoza.jp/>

「Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)」施設概要

感動を生み出すエンタテインメント性とアートの融合による、“楽しさ”と“ライブ感”を体験できる大人のための“遊べる”ギャラリー。最先端のアートから、工芸、サブカルチャーまで、様々なジャンルの催事を1～3ヶ月ごとに入れ替えながら継続的に展開していきます。

開業日: 2017年4月15日(土)

所在地: 東京都文京区後楽1-3-61

東京ドームシティ クリスタルアベニュー沿い

床面積: 約830㎡

天井高: 約5m

URL: <https://www.tokyo-dome.co.jp/aamo/>

